

平成29年度予算見積調書

課室名：エコタウン環境課
 担当名：創エネルギー推進担当
 内線：3004 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B16	水素社会を身近に感じる社会づくり事業費		一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	低炭素分散型エネルギー社会構築事業費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	エネルギー政策基本法、地球温暖化対策推進条例		挑戦項目	10	新たなエネルギー社会の構築	
					分野施策	051142	環境に優しいエネルギーの普及拡大	
1 事業概要			5 事業説明					
ラグビーワールドカップや東京オリ・パラの開催に合わせて水素社会の到来を誰もが実感できるよう、燃料電池等の導入や普及啓発活動を推進する。 (1) 車載式燃料電池 14,195千円 (2) 分散型エネルギー利活用設備整備費補助 50,116千円 (3) 水素エネルギー普及啓発費 4,424千円 (4) 普及推進協議会運営費 107千円			(1) 事業内容 ア 車載式燃料電池 移動式燃料電池システムを活用して普及啓発活動を実施 14,195千円 イ 分散エネ設備整備費補助 業務・産業用燃料電池の設置者への補助 50,116千円 ウ 水素エネルギー普及啓発 国際展への出展、マッチングセミナーの開催、資料作成 4,424千円 エ 普及推進協議会 委員謝金、会場使用料等 107千円 (2) 事業計画 平成26年度 水素エネルギー普及推進協議会の創設 平成28年度 サプライチェーン構築可能性調査、下水汚泥利活用の実証、燃料電池補助制度の創設 平成29年度 車載式燃料電池の導入 平成31～32年度 ラグビーワールドカップや東京オリ・パラにおける水素エネルギーの利活用 (3) 事業効果 ・ラグビーワールドカップ等を契機に先進技術を具現化し、水素社会の到来を広く発信 ・燃料電池の整備によるCO2排出量の削減 (4) 変更点 ・「水素エネルギー普及推進事業費」を「燃料電池自動車等普及推進事業費」と本事業に分割 ・車載式燃料電池の導入に着手、国際展への出展によるPRの強化					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 燃料電池補助は(国1/3等・県1/6)事業者1/2								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円								
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	68,842						68,842	△29,296
前年額	98,138						98,138	